

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：保健予防費 目：成人病予防費

事業名 女性のヘルスアップ事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 がん・受動喫煙対策係

電話番号：058-272-1111(内3321)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 2,263 千円 (前年度予算額： 2,332 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	2,332	1,166	0	0	0	0	0	0	1,166
要求額	2,263	1,131	0	0	0	0	0	0	1,132
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

今般の新型コロナウイルス感染症の拡大による受診控えが懸念されている中、乳がんとう子宮頸がん検診受診率は減少傾向が続いている。一般的に早期がんは自覚症状に乏しく、発見の遅れは生命を脅かすことから、早期発見に向けたがん検診受診率の回復に向け早急に取り組む必要がある。

がん検診を受けない理由として、がんに関する世論調査(R5年内閣府)では、「経済的負担(26.5%)」「がんと診断されることが怖い(22.4%)」「受ける時間がない(18.4%)」「検査内容や苦痛の程度がわからず不安(16.3%)」「必要性を感じない(16.3%)」と 検診への不安やきっかけがないことも課題といえる。そこで、女性の罹患が最も多い乳がんを中心に、感染予防策を施した乳がん検診の体験機会を設け、検診に対する不安を払拭し、がん検診の必要性について県内広域的に普及啓発することが必要である。

しかし、従前の事業では普及啓発活動に使用できる予算に限りがあり、広報活動に限界があった。そこで、新たに民間団体と協働し民間イベントの同時開催を行うことにより、集客及び普及啓発について発展的強化を行う。

チラシの配布やパネル展示、事前広報の拡大、啓発動画の放映、ワークショップ、ハンドメイドマルシェ、ステージイベント等を民間団体と協力して実施することにより、より多くの方に乳がん検診を知る機会を提供できる。県全域でイベントによる普及啓発を行うことで、県全体の受診率向上に取り組む。

(2) 事業内容

民間団体とコラボし、県内広域的な啓発普及活動の実施と同時にがん検診車(ラッピングバス)によるがん検診の実施

- ①乳がん検診車によるがん検診の実施
- ②がん検診等についての普及啓発
- ③ぎふピンクリボン実行委員会啓発イベントとの同時開催

(3) 県負担・補助率の考え方

第4次岐阜県がん対策推進計画に基づき推進される事業であり、県負担が適当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
旅費	60	業務旅費
需用費	175	事務消耗品、啓発物品作成
役務費	10	電話・郵便料
委託料	2,005	検診啓発委託（岐阜県厚生農業協同組合連合会予定）
使用料	13	事務消耗品、啓発物品作成
合計	2,263	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4次岐阜県がん対策推進計画

(2) 後年度の財政負担

県1/2、国1/2

(3) 事業主体及びその妥当性

委託先の岐阜県厚生農業協同組合連合会はデジタルマンモグラフィ撮影装置を2台搭載した検診車を配置しており、イベント等においてより多くの乳がん検診が実施可能である。また、検診機関としてがん検診の普及啓発にも積極的に取り組んでいる。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 イベント会場等における普及啓発と乳がん検診車によるがん検診を実施することにより、受診のきっかけをつくり、不安感を払拭することで、がん検診の継続受診につなげ、乳がん検診受診率の向上を目指す。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R4)	R6年度 実績	R7年度 実績	R8年度 目標	終期目標 (R8)	
					達成率	
①乳がん検診受診率（国民生活基礎調査）	46.9	-	-	-	51.0	92%
②乳がん検診受診率（地域保健・健康増進事業報告）	19.4	-	-	-	21.0	-

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>県内4会場で乳がん検診車によるがん検診を実施し、延べ170名が受診した。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<p>県内4会場で乳がん検診車によるがん検診を実施し、延べ180名が受診した。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 3	乳がん検診受診率は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、減少している。受診率対策として広域に啓発できる本事業の必要性は高い。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	受診率にはあられていないが、民間団体と連携してショッピングモール等の人が集まる場所で啓発活動ができており、多くの人にがん検診の受診を促すことができている。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 1	複数圏域での開催となったことでより様々な圏域の県民にがん検診の啓発ができている。R8年度に3回開催し、初めての方を中心にがん検診を受けてもらうことで、今後のがん検診継続受診も見込める。

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 乳がん検診受診率は目標値に達しておらず、引き続き受診率向上に向けた活動が必要である。また、がん検診の普及啓発をより効果的に行えるよう、民間団体等と協働して行う必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか がんの早期発見、早期治療につながるよう、がん検診の普及啓発とがん検診の体験機会の提供を継続して行う。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	【〇〇課】